

別紙 2 9

【薬効分類】 4 2 9 その他の腫瘍用薬

【医薬品名】 イブルチニブ

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） ケトコナゾール、イトラコナゾール、クラリスロマイシン、エンシトレルビル フマル酸を投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） ケトコナゾール、イトラコナゾール、クラリスロマイシン、エンシトレルビル フマル酸、 <u>セリチニブ</u> を投与中の患者		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ケトコナゾール（経口剤：国内未発売） イトラコナゾール クラリスロマイシン エンシトレルビル フマル酸	本剤の血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤のCYP3A阻害作用により、本剤の代謝が阻害される。	ケトコナゾール（経口剤：国内未発売） イトラコナゾール クラリスロマイシン エンシトレルビル フマル酸 <u>セリチニブ</u>	本剤の血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤のCYP3A阻害作用により、本剤の代謝が阻害される。